

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ここいろ なんと		
○保護者評価実施期間	令和7年12月15日		～ 令和7年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和7年1月8日		～ 令和7年1月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から保護者と家庭や事業所での様子などの情報を共有し、連携して支援を行っている。	連絡帳への記入だけでなく、毎日のお迎え時や送迎時に活動や様子について保護者に伝えたり、保護者から様子を伺ったりして連携がしやすいようにしている。	引き続き保護者と連携がとれるよう、情報共有に努める。
2	親子イベントや懇談会を開催し、保護者同士の交流の機会を設けている。	保護者へのアンケート調査で、親子イベントや懇談会の開催を希望する声を多くいただいたので、定期的に保護者が参加できるイベントを企画している。座席の工夫など、保護者同士がつながりをもちやすくなるよう意識している。	引き続き定期的に親子イベントや懇談会を開催し、保護者同士のつながりを維持できるようにする。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民とつながる機会が少ない。	事業所周辺を散歩している際にすれ違う人にあいさつをしたり、近所へ買い物に行ったりすることはよくあるが、地域住民と交流したといえるほどの関わりはもてていない。 近所の公園で地域の児童と一緒に遊ぶことはある。	地域で開催されるイベントに参加する機会を設け、事業所のことを知ってもらったり、地域住民と交流したりできるようにしていく。 地域の児童と遊ぶ際は、職員が必要に応じて介入し、適切な関わり方ができるよう支援する。
2			
3			